IO-Linkのデータテーブル

一般情報	
通信モードのIO-Link	COM 2
最小サイクルタイム	2.3 ms
SIOモード	サポート対象
長さのプロセスデータ	8 Bit
ベンダーID	297 / 0x0129
デバイスID	102 / 0x000066
データストレージ	サポート対象
仕様、IO-Link	1.1

プロセスデータ

センサーのプロファイル

Byte 0							
7	6	5	4	3	2	1	0
X	X	X	X	X	X	X	スイッチングQ1

識別データ

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
16 / 0x10	R	StringT	64 Bytes	0	Schneider Electric	-	Vendor Name	メーカー名
17 / 0x11				0	https://www.tesen-sors.com/	-	Vendor Text	メーカーのWebサイト
18 / 0x12				0	XUB5APYNM12 XUB5BPYNM12 XUB6APYNM12 XUB6APYWM12 XUB6BPYNM12 XUB6BPYWM12 XUN5APYNM12 XUN6APYNM12		Product Name	パラメーター「製品ID」には、完全な製品名（コマーシャルリファレンス）が含まれています。
19 / 0x13				0			Product ID	パラメーター「製品ID」には、デバイスのベンダー固有の製品またはタイプのIDが含まれています。
20 / 0x14				0	近接センサー	-	Product Text	パラメーター「製品テキスト」には、デバイスの追加の製品情報が含まれています。
22 / 0x16				0	-	-	Hardware Revision	各デバイスのハードウェアリビジョンの一意のベンダー固有の識別子（例：HW-V1.0）。
23 / 0x17				0	-	-	Firmware Revision	各デバイスのファームウェアリビジョンの一意のベンダー固有の識別子（例：FW-V1.0）。
24 / 0x18	R/W	StringT	32 Bytes	0	***	-	Application Specific Tag	パラメータ「アプリケーション固有のタグ」は、ユーザーアプリケーション専用です。「機能タグ」（デバイスの役割）または「ロケーションタグ」（デバイスの位置）として使用できます。

システムコマンド

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
2 / 0x02	W	UIntegerT	1 Byte	0	-	65, 130	System command	65：ティーチプロセスを起動します（インデックス59のフィードバックを参照） 130：工場出荷時の設定に戻します

検出パラメータ (1/2)

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
	ティーチインのステータス							
59 / 0x3B	R	RecordT	1 Byte	0	-	-	ティーチインステータス	パラメータ「ティーチインステータス」は、ティーチインプロセス（SP1シングルバリューティーチ / インデックス2）のステータスと結果に関するフィードバックを提供します。このステータス情報は、「ティーチステート」と「ティーチフラグ」に分かれています。
		BooleanT	1 Bit	1	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP2 TP2	SP2 TP2のティーチフラグ（XU●8 BGS のみ）
		BooleanT	1 Bit	2	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP2 TP1	SP2 TP1のティーチフラグ（XU●8 BGS のみ）
		BooleanT	1 Bit	3	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP1 TP2	SP1 TP2のティーチフラグ（XU●8 BGSのみ）
		BooleanT	1 Bit	4	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP1 TP1	SP1 TP1のティーチフラグ
		UIntegerT	4 Bits	5	0	0 = アイドル 1 = SP1成功 2 = SP2成功 3 = SP12成功 4 = コマンドを待つ 5 = ビジー 6 = 予約済み 7 = エラー	ティーチステート	ティーチステータスの結果： 0 =アイドル、ティーチはまだ完了していません 1 = SP1成功、検出ポイント1のティーチ処理が成功しました 2 = SP2成功、検出ポイント2のティーチ処理が成功しました（XU●8 BGSのみ） 3 = SP12成功、検出ポイント1 + 2のティーチ処理が成功しました（XU●8 BGSのみ） 4 =コマンド待機（XU●8 BGSのみ） 5 =ビジー（XU●8 BGSのみ） 6 =予約済み（XU●8 BGSのみ） 7 =エラー、センサーの前にオブジェクトがない場合 / 検出範囲外 / オブジェクトが近すぎる
	検出ポイント							
81 / 0x51	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0 = 外部 255 = IO-Link	BDC1セットポイント設定：IO-Link/外部選択	BDC1セットポイントの構成方法を定義します（IO-Linkまたは外部）
60 / 0x3C	R/W	RecordT	2 Bytes	0	-	-	BDC1のセットポイント	次の3つのパラメーターは、BDC1の検出ポイントを定義します
		UIntegerT	1 Byte	1	0	0...100	セットポイント1	BDC1セットポイント 1（インデックス81の「IO-Link」で最初に設定）
		UIntegerT	1 Byte	2	0	-	Setpoint 2	BDC1セットポイント 2（XU●8 BGSの場合のみ）

(1) R = 読み取り / W = 書き込み

© 2024 TMSS France. All Rights Reserved.

検出パラメータ (2/2)

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
	検出信号							
100 / 0x64	R	Float32T	4 Bytes	0	-	0.1 ... 100	Read energy quantity	受信したエネルギー量を読み取って、信頼性の高い検出を行います。
101 / 0x65	R	StringT	1 Byte	0	-	0 = 十分ではない 1 = 限界 2 = 許容範囲内 3 = たいへん良い	Energy quantity result	レベルごとに受け取るエネルギー量に関するフィードバックを提供します： 0 =不十分（1.5～2.5のエネルギー量） 1 =制限（1.5～2.5のエネルギー量） 2 =許容可能（2.5～5.0のエネルギー量） 3 =非常に良い（5.0～100のエネルギー量）
	ポテンショメータの設定							
80 / 0x50	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	255	0 = ロック 255 = ロック解除	製品設定のロック	製品のすべての設定をロックします（ポテンショメータの値と入力ワイヤの値）
83 0x53	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	-	0 ... 100	ターゲット位置の読み取り	ポテンショメータの最小値を%で返します（0%は最小位置、100%は最大位置を意味します）。値はオブジェクトの色と材質によって異なります。 1%未満の場合はティーチングはエラー7になります。 ティーチが成功した後、このインデックスから読み取られる値は、「BDC1のセットポイント」、インデックス60、サブインデックス1に対応する必要があります。

データパラメーター

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
	稼働データの読み取り							
103 / 0x67	R	UIntegerT	4 Bytes	0	-	0 ... 2^{32}-1	作動時間	稼働時間数。データは読み取り専用であり、リセットはできません
102 / 0x66	R	UIntegerT	4 Bytes	0	-	0 ... 2^{32}-1	状態変化カウンター	出力変更ステータスの数（オンおよびオフ） ターゲットを渡すと、オブジェクトの値が2 倍に増加します。
107 / 0x6B	W	UIntegerT	1 Byte	0	-	255 = リセット	状態変化カウンターのリセット	状態変化カウンターを0にリセットします。

機能パラメーター

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
	タイマーの構成							
90 / 0x5A	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0 = タイマーなし 1 = オンディレイ/オフディレイモード 2 = ライジングエッジがワンショット遅延 3 = フォーリングエッジがワンショット遅延	Timer Selection	出力で適用するタイマー機能を定義します
91 / 0x5B	R/W	UIntegerT	2 Bytes	0	0	5ミリ秒、10ミリ秒、25ミリ秒、50ミリ秒、100ミリ秒、250ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2.5秒、5秒、10秒、25秒	T1	タイマー機能のT1の値を定義します。
92 / 0x5C	R/W	UIntegerT	2 Bytes	0	0		T2	タイマー機能のT2の値を定義します。
	その他の機能							
14 / 0x0E	R	Array of bytes StringT	Variable	0	0x01, 0x01, 0x00	-	PDInput-Descriptor	共通プロファイルでは必須ですが、拡散センサーには実装されていません。

出力パラメータ

指数 (10進数/16進数)	アクセス(1)	データタイプ	長さ	サブインデックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
	出力の動作							
71 / 0x47	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0 = 外部 255 = IO-Link	BDC1スイッチポイントロジック設定： IO-Link/外部選択	NO/NC機能の設定方法を定義します（IO-LinkまたはINワイヤを使用）。
61 / 0x3D	R/W	RecordT	4 Bytes	0	-	-	BDC1のスイッチパラメーター	次の3つのパラメータは、BDC1（出力 1）のスイッチング動作を定義します
		UIntegerT	1 Byte	1	0	0 = 反転なし（NO） 1 = 反転（NC）	スイッチポイントロジック	パラメーター「スイッチポイントロジック」は、スイッチング情報が反転した方式、反転しない方式のどちらで送信されるかを定義します。出力機能をNO（通常はオープン）とNC（通常はクローズ）から選択します。最初のインデックスである71=IO-linkを選択します。
		UIntegerT	1 Byte	2	1	0 = 非アクティブ 1 = シングルポイントモード 2 = ウィンドウモード 3 = 2ポイントモード	スイッチポイントモード	検出モードを選択： 1 =検出点が1つ必要な場合はシングルポイントモードが選択されます 2=近点と遠点と呼ばれる2つの検出点間での検出が必要な場合はウィンドウモードが選択されます（XU●8 BGSのみ） 3 = 2ポイントモード（XU●8 BGSのみ）
		UIntegerT	2 Bytes	3	0	0	スイッチポイントヒステリシス	パラメータ「スイッチポイントヒステリシス」は、ヒステリシスがセットポイントSP1およびSP2に関連付けられているかどうかを定義します。SP1とSP2に対するヒステリシスのレイアウト（対称、右揃え、左揃えなど）は、メーカー/ベンダーによって異なります。FunctionClassで定義することはできません。ヒステリシス値（相対値または絶対値）の解釈も、メーカー/ベンダーによって異なります（XU●8 BGSのみ）。
	出力構成							
70 / 0x46	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	128	0 = NPN 128 = 自動検出 255 = PNP	出力機能タイプ	センサー（NPN / 自動検出 / PNP）の出力機能タイプを定義します （
40 / 0x28	R	UIntegerT	1 Byte	0	-	0 = オフ 1 = オン	PD Input	デバイスの最後の有効なプロセス入力データ。
58 / 0x3A	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0	ティーチインチャンネル	パラメータ「ティーチインチャンネル」を使用すると、ティーチインコマンドの適用対象である特定のBDCまたはBDCのセットをアドレス指定できます。最大128のBDCをアドレス指定できます（XU●8 BGSのみ）。

(1) R = 読み取り / W = 書き込み